



発行所
山形新聞社

〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)
(c)山形新聞社2018

2018年
2月12日
〈月曜日〉

速電
報子
版

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。



ノルディックスキー・ジャンプ女子で銅メダルを獲得した高梨沙羅の
2回目の飛躍
11月12日、韓国・平昌（共同）

スキー・ジャンプ女子

高梨



【平昌共同】平昌冬季五輪第4日の12日、ノルディックスキー・ジャンプ女子で日本のエース、高梨沙羅（21）はクラレが、念願の銅メダルを手にした。

2018 平昌五輪

ジャンプ勢は2014年ソチ五輪の男子ラージヒルで葛西紀明（45）と土屋ホームが2位、団体が3位になっており、2大会連続の表彰台。女子では初のメダルで、通算12個目となった。

最後にいいジャンプ

ジャンプ女子が初採用されたソチ五輪に17歳で出場した高梨は、絶対的な優勝候補だったが力を発揮できずに4位に終わった。悔しさをばねに成長し、ワールドカップ（W杯）でジャンプの男女を通じて歴代最多に並ぶ通算53勝に到達した。今

季はW杯未勝利と苦しみ、躍進する欧州勢に後れを取ったが、前向きな気持ちを失わずにメダルを引き寄せた。今季ワールドカップ7勝のマーレン・ルンビ（ノルウェー）が初優勝した。

高梨沙羅の話 目標

にしては金メダルには届かなかったが、最後の最後に一番いいジャンプが飛べた。自分がまだ金メダルを取る器ではないと分かったし、まだまだ競技者として勉強していかないといけない部分もたくさんある。（共同）

購読・試読のお申し込みは▶
フリーダイヤル 0120-81-8040